

建設産業情報（最近の動向）  
（2014年9月1日～9月30日）

在外公館名 在サウジアラビア日本大使館

記入日 2014年11月9日

1. 現地の建設工事に係る経済情報（建設投資の状況に関する月例報告など）  
該当なし

2. 建設業制度、入札契約制度の改正動向  
該当なし

3. 報道情報

	タイトル、概要	日付/掲載紙
1	サウジ鉄道公社(SRO)はリヤド-ダンマン間に設計速度 350KM、運行速度 300KM の超高速列車を走らせるための調査事業をスペインの Consultrans 社に 60 億 SR で発注した。契約期間は 10 カ月。調査には列車のプロトタイプ作成、プロジェクト全体のコストと収支予測を含む。開通すれば所要時間は 3 時間から 1.5 時間に半減される。	3 日 ア紙
2	民間航空総局(GACA)は、総額 50 億 SR に上る国内空港の開発事業を承認した。対象プロジェクトは Jazan の King Abdullah 空港建設、Arar 空港の航空誘導装置の運転保守、リヤドとダンマン両国際空港の保守清掃作業等である。	3 日 サ紙
3	サウジアラビアとバーレーン間の第二海上橋建設計画が浮上している。バーレーンの運輸相が明らかにしたものであり車両と鉄道の併用橋として総工費は 50 億\$とみられている。運輸相はすでにルートは決定済みとしたが、建設時期については明言しなかった。現在のキング・ファハド・コーズウェーは全長 25KM で 1986 年に開通している。	9 日 ア紙
4	Arcadis 社は世界 41 カ国のインフラ投資を調査、第 2 回世界インフラ投資ランキングを発表した。これによれば湾岸各国が上位に並んでおり、カタールが世界 2 位、UAE はカナダに次いで世界 4 位である。ちなみに 1 位はシンガポール、サウジアラビアは世界 12 位とされている。投資の最大のリスクは資材、労務費等のインフレの恐れである。	2 3 日 Khaleej Times
5	アブドルアジズ国王リヤド公共交通プロジェクトと呼ばれる 225 億\$のメトロ計画は首都リヤドの要となる近代化プロジェクトである。2013 年に始まったリヤド・メトロ計画は 5 年内の完成を目指し、総延長 176KM、6 線、85 駅のメトロのほか 1, 150KM の路線バス網を含む。すでに Bechtel/シーメンスグループ、	2 4 日 ア紙

	スペイン FCC/仏 Alstom グループ及び伊 Ansaldo/加 Bombardier グループに発注済み。	
6	サウジ鉄道公社(SRO)の Al-Suwaiket 社長は、鉄道車両を国産化するため外国企業のパートナーを探していると述べた。車両製作工場はサウジ人 1 万人以上の雇用を創出し、GCC 鉄道網用としても寄与することになる。	25 日 サ紙

(注：ア紙：アラブニュース紙、サ紙：サウジガゼット紙)

#### 4. その他我が国建設業界にとって参考となりうる最近の動向（報道情報以外）

##### 労働に関する報道

- 1 日 労働省は過去 9 ヶ月間に労働法違反で摘発した 62,762 社に総額 1 千万リヤル以上の罰金を科すことにした。この間 20 万件に上る立ち入り調査を行い、スポンサー以外の企業で働いていた労働者 9,597 人を逮捕、女性雇用義務違反関連で女性下着店 3,427 件を告発した。自国民化政策に適合しない 18,773 社は従業員の在留期限の延長ができなくなる。(ア紙)
- 1 日 技術・職業訓練公社(TVTC)の今年の受講生は 10 万人を突破した。Al-Ghafis TVTC 総裁はキャパシティ・ビルディング(能力育成)を今年度の訓練プログラムとして実施すると述べた。現在国内には技術校が 36 校、男性用一般訓練校 18 校、女性用の工業高校 68 校がある。このほか私立校と提携した訓練校が 28 校ある。(ア紙)
- 2 日 政府はエボラ出血熱発生地地のギニア、リベリア、シエラレオネ各国に対する労働ビザの発給を停止した。(Gulf Daily News)
- 9 日 諮問評議会の Al-Hamad 議員は、サウジ人化の法律抜け穴として大手企業が下請けを利用していると糾弾した。大手企業は 100%サウジ人化したと主張しているが、仕事の多くを外国人労働者を抱えた下請けに外注している。Al-Hamad 議員は、政府による不法滞在外国人労働者の強制送還にもかかわらず、外国人労働者の総数は 2013 年に比べ 12%増加しており、サウジ人の失業率が 3.3%にアップしている点を指摘している。(ア紙)
- 10 日 労働省は、新規雇用された外国人労働者が、雇用主がニタカットプログラム上で赤もしくは黄に分類されていることが理由で労働許可を得られなかった場合、自由に別のスポンサーを探せることを、同省のソーシャルネットワークアカウント上で発表した。(ア紙)
- 12 日 諮問評議会の総務・人材委員会は社会保険機構(GOSI)に登録されているサウジ人の月額最低賃金を 2,000 リヤルとすることを勧告した。勧告は来週の本会議で審議される。Al-Naji 委員長は、最低賃金が Hafiz 失業保険制度による支給額より低いことがあってはならないと述べた。GOSI のデータによれば月 2,000 リヤル以下のサウジ人勤労者が 73,000 人いる。(ア紙)
- 13 日 労働力の女性化第 3 フェーズが本年 10 月 25 日から開始される。本フェーズでは、従業員 5 名以下の店舗を含め、香水、妊婦用品、アバヤ、靴、鞆、生地/布の販売店が対象となる。(ア紙)
- 13 日 労働省の統計によればサウジ人化 Nitaqat 政策でレッド・ゾーンとされた民間企業のうち 20 万社が休業に追い込まれている。これらの企業のうちの 58.6%はサウジ人を最低一人雇用

することが義務付けられた零細または小企業である。大企業のうち 180 社も未だにレッドまたはイエロー・ゾーンのままである。ビジネス評論家の Almotawa 氏によればサウジ人雇用目標をクリアできずレッド及びイエロー・ゾーンにとどまっている企業が 36,951 社ある。(ア紙)

15日 リヤド商工会議所建設業者委員会 Fahad Al Hammadi 会頭によると、サウジアラビアの建設業者は、経験のある外国人労働者不足が要因で過去 2 年に 40%のプロジェクトを失った。(ア紙)

15日 労務コンサルタント企業 Aon Hewitt 社によれば、2015年の GCC の平均賃上げ率は 5.1% の見込みである。GCC6 カ国の中ではオマーンとサウジアラビアが 5.4%と上げ幅が最も大きく、クウェイト 5.3%、カタール 5.2%、UAE は 4.8%でバーレーンが最も低い 4.5%。これは 2013 年、2014 年より若干ダウンしている。(サ紙)

17日 労働省は国内の巨大プロジェクトで働くサウジ人を養成するため高等職業訓練カレッジ 27 校を開校する。MEED 主催のメガ・運輸・インフラ会議で労働省の al-Humaidan 副大臣が明らかにしたものであるが、副大臣は毎年海外から 100 万人もの労働者が流入しているが実際はその 20-30%で十分である、と述べている。(MEED)

18日 警備セクターは、今後 5 年間で若年層サウジアラビア人男女 5,000 名の雇用を創出する可能性がある。(ア紙)

19日 接客に不慣れなサウジ人女性店員に対してクレームが殺到している。セールス・ウーマンは商品知識が乏しく訓練不足である、という意見や、英語がしゃべれないことに対する外国人顧客からのクレーム、或いはレジの打ち方が遅いなどの不満がある。また客も店員もアバヤを着ているためどちらが店員かわからないとの声も聞こえる。(ア紙)

19日 職業訓練公社 (TVTC) は、今年 114 の職業訓練所を新規に設立する。職業訓練所に応募した男性 10 万人のうち、受け入れられたのは 3 分の 1 のみで、同じく女性は約 3 万人のうち 15%のみとされている。シューラ評議会のレポートによると、TVTC 職業訓練所卒業生 11 万人がハーフィズ (Hafiz) プログラム (失業保険) に登録されている。TVTC の年間予算は 60 億サウジリヤル (約 1,740 億円)。(サ紙)

23日 労働省は外国人労働者の権利保護のため最低 2 年間はスポンサーシップの変更を認めないとする現行制度を無効とすることを決定したが、サウジ人化の Nitaqat 政策に対応できない中小企業で働く外国人にとっては居住ビザを更新できないなど不都合も生じている。(ア紙)

(注：ア紙：アラブニュース紙、サ紙：サウジガゼット紙)